

エクストリームシリーズ2008 尾瀬檜枝岐大会

尾瀬檜枝岐大会優勝チームコメント

ワイルドライフ 永田 尚大 さん

ワイルドライフの2008シーズンの目標は、シリーズ優勝して四国大会へ行くことです。奥多摩大会が終わった段階で総合3位なので、逆転優勝に望みをつなぐためには尾瀬檜枝岐大会で優勝することが絶対条件でした。

今大会は会長、しもやん、ビーノの男3人組です。会長が2人にどこまでついていけるか??

大会1週間前の週末にはライバル・KIWAMIの飲み会に参加。ゴン太さんが女性メンバーとして参加するという事でかなりの脅威です。

会長としもやんは金曜日の夜に東京を車で出発。ビーノは金曜日の午前中に北千住から輪行。尾瀬の最寄駅から大会会場までは、本当にMTBで行ったらしい。大会前からエネルギーを使ってます。きっと元気があり余ってるんでしょうね。大会後、同じ道を車で帰ったんですが、駅から会場まではほとんど上り。自分は絶対やりたくない!!!

さて、いよいよスタートということで。いきなり、スキー場のリフト乗り場まで登られされます。ビーノの牽引でいきなり1位で通過。ここで会長はかなりの力を使ってしまいました。先は長いのに・・・

CP1はイワナ釣り。釣堀のイワナは相当腹が減ってるのか、ものすごい食いつき。あっという間にクリア。ここから長い、なが〜い、ロード&トレイル。

この時点でトップなのでとにかく、2位には落ちたくないと思命に走ります。CP2、CP3は山の中腹にあり、ここもなんとか1位で通過。CPから降りるときに後から来るチームとすれ違うのですが、差はほとんどありません。ちょっと手を抜いたらあっという間に抜かれそうです。

CP3からCP4へ向かうロードで早くも会長のペースが落ち、ザックをビーノが持ってくれました。ありがとう。ビーノが結婚したらお祝儀は5万包むよ。

CP4へ着いたときには会長はバテバテ。まだ、半分もきてません。

CP5では水ががぶ飲み。とにかく暑くて、水を見つけると体にもかけ、体の中にも入れ。

CP6は沢沿いにあるのですが、これがなかなかの登り。ふくらはぎは悲鳴を上げ、はやくも痙攣の兆しが・・・CP6→CP7へは登り返さずにトラバースすることに。ちょっと迷いましたが、CP7のカードをトップでBOXに入れることができ、まだ、トップなんだと励まれます。

このトラバースで後続とかなりの差をつけたはず。と思いきや、川の遡行のセクションでKIWAMIが追いついてきた〜。マジですか〜!?

CP10に着いたときはKIWAMIとの差は10秒。ここでは、ダーツで目的のCP11を選択します。気になる行き先は・・・KIWAMIとは異なるようだ。果たして、CP11での順位変動はあるのか?? CP11を取ってロードに出ると、なんと前方にKIWAMIを発見。

げげっ! ついに抜かれた!!

CP12からはMTBセクション。ビーノが会長を牽引し、KIWAMIとの差を縮めようと頑張ります。が、CP13を目前にして会長が力尽き、牽引するMTBが転倒。そのはずみで牽引棒も壊れてしまった。それでもCP13に着いたときはなぜかトップ。さてはKIWAMIがやっちゃったのか・・・??

棚ぼたでの逆転で再び、モチベーションアップ。今度は最後までトップを守るぞ〜!

しかし、CP14からCP15までは沢をMTBを担いで登ることになり、ペースダウン。ついに会長は、MTBを担いだまま沢の中で動けなくなってしまいました。ゴールを目前にして、最大の危機です。ここで、しもやんとビーノにMTBを運んでもらい、なんとか沢を脱出。やっとの思いでCP15にたどり着きました。スタッフに順位を聞いたら、まだ1位をキープしていました。

ここからゴールまでは道がはっきりしているのでとにかく急ぎます。でも、会長はもうほんとにバテバテで残ってる体力はありません。MTBの下りで1回転して、左ひじを強打しながらなんとかGO〜A〜L!

ついに優勝です!! 2006年の奥多摩大会に同じメンバーで初めて出て、2年をかけたついにこの日がきました。

シリーズ完結まで残り1戦。四国へチャンスが残ってるので優勝を目指してがんばりますっ!!

聾girl 内田 麻衣 さん

『聾Girl』 チーム名の通り、聴覚障害者の女子3人組です。

4月のとある日、智子&由佳からアドベンチャー大会の誘いをもちかけられたのがきっかけです。アドベンチャー大会という言葉初めて聞いた私は、意味が分からず、簡単に説明を聞いてる内に是非挑戦したい気持ちが高まりました。

大会前日の朝、車で5時間かけて檜枝岐村に到着！大自然と綺麗な空気に囲まれた村で軽くランニングしながらウォーミングアップ。

大会当日は、出場総48チームと予想よりたくさんの人数が集まっていました。その中、女性Onlyのチームは我らチーム・聾Girlだけでした。。。 (おバカトリオ?笑)

我らチーム・聾Girl流Newファッションで決めました (のつもりです笑)

まず、軽く我らチーム・聾Girlの自己紹介っ

智子： 東京育ち♪3回ぐらいAD経験有り。スポーツ大好きで刺激フェチ♪学生時代にバレーで鍛えた忍耐力には自信アリ!?

由佳： 海・山アリの千葉育ち♪夏は海女、冬は雪女です笑。

麻衣： 田舎で育った群馬育ち♪全くのド素人ですが、体力にチョットだけ自信アリ??一応ボディボーダー♪



一番心の残った思い出は、CP14~CP15の険しい道のりのとき・・・。CP14に着く前にギアが調整不可と気づいた時、これから急坂が続くならば、棄権しようか思った事もあり、智子と由佳の暖かい励ましのお陰で機嫌も取り戻せた (笑)。

本当に最後まで諦めなくてよかったあ!!!

今回は聾Girl組で初出場してみて自分の実力・精神を試すことが出来てチームが一丸となってこのレースに対するモチベーションが一致してたと思う。

智子と由佳は最後まで弱音を全くは吐かず、全力尽くし、不機嫌な私をサポートしてくれたり、本当に私にとって幸せな素晴らしいチームだった。

主催側か各自己紹介の時に我らチーム・聾Girlの事を私達のことを耳が聞こえないことを話してくれてたお陰で、他のチームとレース中にすれ違う度に手でタッチしたり、励ましジェスチャーをしてくれたり、本当に温かい人々ばかりなんだろうとすごく嬉しくなりました。

スタッフや地元の皆さんにもすごく理解ある人ばかりでした。ゴールした時はスタッフ皆さんも一緒に大喜びした感動は忘れません。本当に貴重な体験とアスリートを色々学ばせて頂きました。

夜のBBQは民宿の夕食を済ませて行った為、遅れて参加になりましたが、他のチーム達の情熱に圧倒されました。地元のボランティアの方たちにも優しくしてくださり、とても楽しい1日が過ぎました。

最後になりましたが、刺激のある楽しく素晴らしい大会を企画してくれた主催側を我部さん始めスタッフの方々、全参加者の皆様、地元の皆様そしてもちろん、熱意チームメイトに、心から感謝します。

また来夏シリーズでも出場してみたいと思っています。(本当かよー?!笑)

詳しい経緯と写真は由佳のブログに沢山載せてありますので、よかったですら見に来てください♪。

➡ <http://ameblo.jp/wango8921/entry-10108286213.html>